

国際医療福祉大学大学院

INTERNATIONAL UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE GRADUATE SCHOOL

GUIDEBOOK

看護学分野

医療福祉学研究科

- 修士課程 保健医療学専攻
- 博士課程 保健医療学専攻



医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学

看護学分野のご紹介

教育目標

実践者の育成

研究的な視点を持ち現場の問題解決に取り組むことができる、看護の優れた実践家を育成する。

教育者の育成

看護基礎教育課程の教員の研究能力を高め、看護専門職の育成に関する諸問題を考察できる人材を育成する。

管理者の育成

看護サービスを提供する場の力動を構造的に把握し、看護の受け手と協働してサービス提供の仕組みを変革する戦略を持つことができる看護管理者を育成する。

研究能力の育成

既存の研究・理論を看護の実践・教育・管理の改善のために活用する能力を培う。さらに、看護の実践・教育・管理を行う上での疑問を解明し、新たなエビデンスを構築することのできる研究者を育成する。



看護学分野責任者 上別府 圭子

東京大学卒。東京大学大学院医学系研究科保健学専門課程修了、博士（保健学）。2012年より同 大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻 教授。同 専攻長・同 グローバルナースングリサーチセンター 副センター長を歴任。また、日本小児がん看護学会理事長、日本家族看護学会理事長、日本看護系学会協議会会長を歴任。2019年 アメリカ看護アカデミーよりフェロー（FAAN）を得る。2022年より現職。

修士課程

●修業年限：2年 ●取得できる学位・資格：修士（看護学）

修士課程は、看護学の基礎教育を修了した学生が各自のもつ学問的な関心を土台とし追究課題を定め、それを科学的に探究する過程を学べるように組み立てられています。学生には、教員や文献資料などのさまざまな資源を主体的に活用し、看護の専門性を高めるための探究の道を自ら拓くことが期待されます。看護学は実践の科学であるといわれているように、看護の実践から追究課題を見だし、看護の実践の質を高めることに貢献することが一義的に重要です。

博士課程

●修業年限：3年 ●取得できる学位・資格：博士（看護学）

博士課程は、看護学研究者の育成をめざします。看護学研究者は独立して看護学の研究を行う能力をもつだけでなく、研究グループをリードする能力も求められます。そのため本課程では、広く関連領域の専門家とふれあい、関連領域の知識を学ぶ機会を提供するとともに、院生相互の学問的交流の場を設けています。このような機会を通して、院生は看護の専門性をより広い視野からとらえ、それを高めるための学問的探究の方法論を確実に身につけていくことが期待されます。

在学生の声



雨宮 美希 さん 家族看護学分野 修士課程

危機的状況にある患者様や治療・回復過程の患者家族の方々と関わる中で、家族看護の存在の大きさを実感したことから大学院で学ぶことを志しました。大学院では専門分野の他に、他領域の講義を受講すると共に、自身の臨床疑問を明確にするための正しい文献検索や文献検討・研究方法を学んでいます。仕事と学業の両立はたいへんな面もありますが、社会人に配慮されたカリキュラムや多様な授業形態、職場内にあるサテライトキャンパス等の環境と周りの方々からのサポートに支えられ、素晴らしい先生方や経験豊富な先輩・同期の方と学ぶ時間はかけがえのない時間です。大学院での学びを臨床の場や、後輩育成につなげていきたいと思っています。



鳥山 裕加里 さん 公衆衛生看護学領域 実践コース（保健師国家試験受験資格取得課程）修士課程

私は、大学在学時、地域において自分自身で医療や福祉にアクセスできない人々に対する保健活動の重要性を感じたことから、保健師を志し、本学の保健師課程に入学致しました。大学院では、多様な領域の講座を様々な背景を持つ学生たちと共に受講することができます。講義形式だけではなく、プレゼンテーションやディスカッションなどの機会も多く、能動的な学習ができます。また、1年次からの校内・校外での演習及びフィールドワークではより実践的な知識・技術を学ぶことができるため、公衆衛生看護学を学ぶ最適な環境であると思います。大学院での学びを活かし、全ての人々に対して保健活動を展開できる保健師になりたいと思います。

研究指導教員 < 2025 年 6 月現在 >

氏名	専門領域	研究指導テーマ
福井 トシ子 副大学院長・教授	修士課程：看護管理・政策学 博士課程：管理実践看護学	①看護の組織・運営に関する諸課題と看護政策提言に関する諸課題 ②認定看護管理者等や専門性の高い看護師等が推進する変革や看護の質向上に関する諸課題 ③助産管理における諸課題と助産政策提言に関する諸課題 ④地域における健康・療養支援の強化に関する諸課題
上別府 圭子 教授	修士課程：家族看護学／小児看護学／精神看護学 博士課程：家族看護学	①家族看護を専門に学んだ看護師が行う看護の効果評価 ②子ども虐待の予防と包括的支援／家族内に潜む多重暴力の発見と支援 ③健康問題をもつ子どもの成人移行支援／小児がんの長期フォローアップ ④死をめぐる臨床
遠藤 英子 特任教授	修士課程：感染管理・感染看護学／看護管理・政策学 博士課程：感染管理・感染看護学	①感染管理・感染看護学 ②高度実践看護師(CNS)教育 ③医療関連感染：血液曝露に関する研究など ④看護援助と感染 ⑤看護教育：看護観形成、キャリア形成、臨床倫理 ⑥適応理論 ⑦リスクマネジメント
荒川 博美 教授	修士課程：在宅看護学	①訪問看護 ②退院支援、種間連携 ③地域で活動するボランティア(コミュニティ・ヘルスワーカー等)による地域づくり ④認知症ケア ⑤コミュニティ・エンパワメント
家入 香代 教授	修士課程：公衆衛生看護学	①公衆衛生看護の現場における効果的な実践と人材育成 ②子ども虐待防止に係る関係職種・機関との連携
石村 佳代子 教授	修士課程：精神看護学領域	①精神疾患をもつ当事者との共同創造 ②児童・思春期のメンタルヘルス ③精神障がい者の地域生活支援
井上 智子 教授	修士課程：成人看護学／看護教育学 博士課程：成人看護学	①侵襲的治療を受ける患者・家族のケア ②クリティカルケア看護学の専門性追求 ③高度実践看護師教育と制度設計 ④病を持つ成人期にある人々への看護方法開発
大谷 則子 教授	修士課程：看護教育学	①看護職の臨床の知 ②看護職の臨床判断 ③看護職の継続教育とキャリア支援 ④臨地実習指導 ⑤ケアの哲学／ケアの倫理
岡田 佳詠 教授	修士・博士課程：精神看護学	①認知行動療法の看護への応用 ②看護領域における認知行動療法の教育研修体制の構築 ③精神疾患患者への認知行動療法の効果
片平 伸子 教授	修士・博士課程：在宅看護学	①在宅看護 ②訪問看護 ③地域密着型サービスにおける看護 ④退院支援看護 等
久木原 博子 教授	修士・博士課程：老年看護学領域	①高齢者のQOLに関する研究 ②高齢者のメンタルヘルスに関する研究 ③高齢者のレジリエンスに関する研究 ④エンド・オブ・ライフケア ⑤アドバンス・ケア・プランニング
熊谷 たまき 教授	修士・博士課程：看護管理・政策学／看護教育学	①労働職場環境・組織風土、組織マネジメントに関する研究 ②バーンアウト、精神的健康、ワーク・ライフ・バランスに関する研究 ③患者・家族のQOLに関する研究 ④自己学習力・自律的学習、看護教育に関する研究
斎藤 照代 教授	修士・博士課程：公衆衛生看護学	①産業保健に関する研究 ②受動喫煙対策・禁煙支援 ③コーチングによる健康教育 ④小規模事業所への効果的な支援
坂本 晴世 教授	修士・博士課程：感染管理・感染看護学	①感染管理・感染看護学 ②感染リスクの探索とその予防とケアに関する研究
佐藤 真由美 教授	修士課程：成人看護学／がん看護学／看護教育学／ 家族看護学／小児看護学／ リプロダクティブヘルス看護学 博士課程：成人看護学／看護教育学	①婦人科がん患者のリンパ浮腫予防に関する研究 ②セルフマネジメントに関する研究 ③がん患者・家族への包括支援に関する研究 ④がん患者への就労支援に関する研究 ⑤整形外科疾患の術後合併症予防に関する研究
嶋津 多恵子 教授	修士・博士課程：公衆衛生看護学	①公衆衛生看護 ②地域看護 ③保健師の人材育成 ④地域保健活動 ⑤地域づくり ⑥精神保健福祉 ⑦親子保健
鈴木 英子 教授	修士・博士課程：看護管理・政策学／精神看護学	①看護師のメンタルヘルス ②病棟の文化のアセスメント及び評価 ③うつ合併した生活習慣病
鈴木 由美 教授	修士課程：リプロダクティブヘルス看護学／看護教育学 博士課程：リプロダクティブヘルス看護学	①周産期のケアに関する研究 ②ウィメンズヘルスに関する研究 ③看護師／助産師の生涯発達学・就業継続に関する研究

氏名	専門領域	研究指導テーマ
高山 裕子 教授	修士・博士課程:小児看護学／看護管理・政策学	①子ども虐待に関する研究 ②親と子の相互作用に関する研究 ③看護職のメンタルヘルスに関する研究 ④コロナ禍における看護職支援
谷山 牧 教授	修士・博士課程:在宅看護学	①在宅看護に関わること ②地域包括ケアシステムに関わること ③経済的困窮と在宅ケア ④退院支援・退院調整 ⑤健康状態を向上させるための行動変容に関わること
野呂 千鶴子 教授	修士・博士課程:公衆衛生看護学	①生活環境特性と看護 ②自然災害による生活環境の変化と健康 ③保健師の集団特性 ④保健活動評価
益田 美津美 教授	修士・博士課程:成人看護学	①クリティカルケア看護学に関する研究 ②高度実践看護師教育とアウトカム研究 ③成人看護学に関する研究 ④シミュレーション・DXに関連した教育手法に関する研究
松本 明美 教授	修士・博士課程:老年看護学	①認知症高齢者のケア(認知症カフェの研究を含む) ②介護予防・認知症予防 ③介護家族支援
三橋 陸子 教授	修士・博士課程:感染管理・感染看護学領域	①感染隔離入院における精神心理的課題とケア ②感染症アウトブレイクにおけるQOL ③感染症に強い地域ネットワークの構築 ④災害をめぐる感染症危機管理 ⑤国際感染症における人材育成
吉岡 詠美 教授	修士・博士課程:看護教育学	①看護倫理教育 ②看護師のキャリア支援 ③看護基礎教育に関する教育的支援 ④小児看護学に関する教育的支援
吉村 恵美子 教授	修士・博士課程:老年看護学／看護教育学	①老年看護アセスメント ②病院における老年看護教育プログラムの開発 ③臨床実習指導 ④看護師のキャリア開発 ⑤看護カウンセリング
五十嵐 真里 准教授	博士課程:管理実践看護学	①看護の組織・運営に関する諸課題と看護政策提言に関する諸課題 ②認定看護管理者等や専門性の高い看護師等が推進する変革や看護の質向上に関する諸課題 ③地域における健康・療養支援の強化に関する諸課題
稲岡 希美子 准教授	修士課程:国際看護学	①国際保健に関する疾病課題の対策 ②在日外国人に対する健康支援 ③看護師継続教育
小林 みゆき 准教授	修士課程:精神看護学	①精神科急性期からの退院と地域定着支援 ②精神科訪問看護 ③精神科高度実践看護師教育
坂 美奈子 准教授	修士課程:看護教育学領域	①看護教員の授業構築、授業改善への支援 ②臨床実習指導者への教育的支援
三條 真紀子 准教授	修士課程:成人看護学／がん看護学	①がん看護 ②緩和ケア看護 ③家族ケア
根本 友見 准教授	修士課程:精神看護学	①精神疾患をもつ当事者とその家族への心理教育 ②看護師による治療的コミュニケーション ③精神科看護師への卒後教育
松嶋 弥生 准教授	修士課程:リプロダクティブヘルス看護学	①妊娠・出産・育児期の健康支援に関する研究 ②妊産婦のメンタルヘルス ③子育て支援 ④看護学・助産学における教育関係に関する研究
村山 志保 准教授	修士課程:家族看護学	①慢性疾患や障害のある子どもと家族の支援 ②慢性疾患のある子どもの成人移行期支援
茂木 りほ 准教授	修士課程:公衆衛生看護学	①公衆衛生看護(特に、公衆衛生看護支援技術や人材育成) ②地域看護
山谷 麻由美 准教授	修士課程:公衆衛生看護学	①公衆衛生看護 ②地域看護 ③地域づくり ④保健師の人材育成
吉田 奏 准教授	修士課程:周麻酔期看護学	①周麻酔期看護 ②周術期看護 ③周麻酔期領域のタスクシフト／シェア
水戸部 優太 講師	修士課程:周麻酔期看護学	①手術を受ける患者の体温に関する研究 ②手術を受ける患者の頭痛に関する研究 ③手術を受ける患者の離床に関する研究 ④手術を受ける患者の栄養に関する研究

【修士課程】

● 看護管理・政策学領域

看護管理・政策学の基本となる諸理論と概念について学修し、医療保健福祉分野における今日的な課題を探究する。研究課題を遂行するための基礎的な研究手法を習得する。

● 感染管理・感染看護学領域

感染管理・感染看護に関連する理論を発展させ、科学的方法を用いて課題の探究を行い、研究者として必要な知識・技術を習得する。

● 看護教育学領域

看護教育学の基礎的理解を深め、専門領域に関する課題について文献検討を行い自己の研究課題を明確にする。さらに、研究計画に基づき看護教育方法や看護教育評価等を実証研究し看護基礎教育力・継続教育力を高める。

● リプロダクティブヘルス看護学領域

女性の生涯発達の見点から、女性・子ども・家族の健康を実現するために必要な理論・最新の知見、技術を学び、課題を探究するための研究手法を習得する。

2025年開設

● クリニカルナースエデュケーター (Clinical Nurse Educator: CNE) コース

臨床に軸足を置く教育実践者であるCNEとなるため、教育に関する理論および方法論を学び、臨床での看護、教育経験を元に自ら課題を解決するための能力を養う。

● 小児看護学領域

子どもと家族の心身の健康問題や健やかな育成への支援に、有効な理論や知見を学修し小児看護の課題を探究する研究手法を習得する。

● 成人看護学領域

成人期にある対象に生じる様々な看護課題を解決するため、発達課題及び健康レベルの見点から臨床現場に生かす総合的研究能力を身につけ、実践的支援方法を習得する。

● 周麻酔期看護学領域

麻酔管理ができる人材育成を目的とし、術前から術中・術後ケアまで含めた全身管理、麻酔管理に必要な知識・技術を習得する。

● 老年看護学領域

高齢者を身体的・精神心理的・社会的側面と発達の側面からとらえ、総合的にアセスメントする能力と、支援課題を明らかにするための研究方法を習得する。

● 精神看護学領域

心の健康問題に関連する理論および最新の知見、方法論を学修し、精神保健看護の質向上と、今日の課題解決に関する研究手法を習得する。

● 家族看護学領域

家族員に健康問題が生じたときはもとより、家族ライフサイクルが移行するときや、家族が属している環境が変化したとき、家族には揺らぎが生じる。この家族を理解するためのモデルや理論を学習し、課題解決のための支援方法や研究方法を習得する。

● 在宅看護学領域

在宅ケアの質を保证するために国内外のシステムを理解し、知識・技術・ケアプログラム・資源活用と開発等の発展への課題を探究する研究手法と実践的支援方法を習得する。

● 公衆衛生看護学領域

公衆衛生看護学講義、演習、研究指導などを通して、地域・産業・学校・国際において、対象者が自ら健康的な支援を選択できるようなコミュニティのシステムを支援する方法を習得する。

● 国際看護学領域

全ての年代の人々の健康を地球規模の見点でとらえ国境や政府を越えて、国内外で全ての人が、基本的人権が保障され、健康な生活(基本的人権)を享受できるように看護職の健康課題構造を探究し、世界の人々と協働してアプローチする能力を習得する。

実践コース

● 公衆衛生看護学領域実践コース (保健師国家試験受験資格取得課程)

専門看護師 (CNS) コース

● がん看護学領域 ● 精神看護学領域 ● 感染管理・感染看護学領域 ● 在宅看護学領域

東京赤坂キャンパスのみで受講可能

※修士課程は、専門学校等を卒業された満22歳以上の方も出願可能です(国家資格保持等の条件を満たしている必要があります)。

【博士課程】

● 管理実践看護学領域(DNPコース)

知識を生み出す研究活動ではなく統合的な実践経験をふまえた実践応用志向「DNPプロジェクト(実装)」を実施するコース。

● 看護管理・政策学領域

看護管理・政策学および関連する学問分野における諸理論・概念の理解を深め、自らの研究課題を探究し、看護の質の向上・看護実践の発展に寄与するエビデンスを構築するための研究力を養う。

● 感染管理・感染看護学領域

感染管理・感染看護に関連する理論を発展させ、科学的方法を用いて課題の探究を行い、研究者として必要な知識・技術を習得する。

● 看護教育学領域

国内外の看護教育学に関する文献検討を行い、看護教育学に関する諸理論を分析し、看護教育学領域における諸現象に適用させ自らの課題を探究する。

● リプロダクティブヘルス看護学領域

女性の生涯発達の見点から、女性・子ども・家族の健康を実現するためのオリジナリティの高い研究に取り組み、自立的に研究を推進できる能力と有用知見を社会に還元できる能力を養う。

● 小児看護学領域

子どもと家族の健康問題やQOL向上の支援について、特に生活機能を重視したインパクトのある研究を遂行できる研究能力を習得する。

● 成人看護学領域

成人期にある対象に生じる様々な看護課題を解決するため、発達課題及び健康レベルの見点から臨床現場に生かす総合的研究能力を身につけ、実践的支援方法を習得する。

● 老年看護学領域

高齢者を身体的・精神心理的・社会的側面と発達の側面からとらえ、高齢者の能力を反映させた新しい支援方法を開発する。

● 精神看護学領域

精神保健看護学に関連する理論を発展させ、精神保健看護学と看護実践の発展に寄与するオリジナリティのある研究を行い、研究者としての能力を習得する。

● 家族看護学領域

先行研究を踏まえてもなお残る臨床疑問を解決するために、家族看護学の視点からオリジナリティの高い研究を計画・遂行し、成果を発信する能力を養う。

● 在宅看護学領域

在宅ケアのアウトカム測定を含め効果効率的なあり方について、オリジナリティの高い応用的・開発的な研究手法を用いて研究し、研究者として必要な能力を習得する。

● 公衆衛生看護学領域

公衆衛生看護学に関する演習、研究指導などを通して、地域・産業・学校・国際において、対象者が自ら健康的な支援を選択できるようなコミュニティのシステム形成を目指したオリジナリティの高い研究を遂行できる能力を養う。

